

ドコモ本部

ドコモ本部

〒107-0052  
東京都港区赤坂2-4-5  
国際赤坂ビル19F  
☎03-3582-9381  
☎03-5114-5444

# 組合員の力を合わせて砂漠を緑化



6月17～23日にドコモ本部独自の社会貢献活動である『砂漠を緑に!』第17次隊」19人が、中国ホルチン砂漠で緑化活動等を行なった。

上で、必要以上に放牧や開墾を繰り返したため、土壌が荒れて砂漠化を引き起こしてしまっ

## 地元住民と共に活動

最も重要なことは、環境を改善し、再び砂漠化させないことである。そのためには、緑化と共に現地住民の生活が豊かになるための土地の有効活用を進めなければならない。緑化の取り組みは、地元住民と一体となって活動する必要がある。

## 全員での植林活動

第17次隊、地元の緑化スタッフ、

地元住民を含め、松の苗木をトータルで350本植林した。植えた後は、全員一丸となった「バケツリレー」を行ない、隊員全員で植えた苗木が無事成長することを祈り、苗木1本1本に思いを込めて水やりをした。また、過去の隊員たちが植えた苗の成長を確認するとともに、松や、ポプラの木の剪定作業も行なった。

## ワークショップで活動を振り返る

最終日には、ワークショップとして「緑化活動に必要な10のこと」をそれぞれが考え、グループディスカッションを行なった。「緑化のための情報」「砂漠化の問題意識」などの知識・情報の必要性や、「物資を調達する資金」など、「人・物・カネ・情報」といった各資源の必要性について、隊員それぞれの思いと本活動の経験をふまえたさまざまな意見が出された。

今後、第17次隊は、今回の活動内容等をさまざまな機会を通じて組合員の皆さんと共有していく。

引き続き、今後の取り組みへの協力をお願いする。

## 砂漠化は人為的な要因

砂漠には気候的に元々砂漠の場所(中国では、沙漠“さばく”)と、人為的に砂漠化してしまった場所(中国では沙地“さち”)の2種類がある。ホルチン砂漠は後者であり、約50年前は大草原が広がっていたが、地元農民が生活をしていく

7面には参加者の感想を掲載しています。

# 家族も喜ぶ 甲子園尽くしの1日

## 甲子園球場 春季レクに135人

【関西総分会】関西総分会は、6月3日に2016年度春季レクリエーション「甲子園歴史館・スタジアムツアー」を阪神甲子園球場で開き、組合員とその家族を含め135人が参加しました。

「スタジアムツアー」では、普段の野球観戦では見ることのできない、ブルペンやインタビュースペース等の裏側を、球場スタッフの解説を聴きながら見学し、高校野球で有名な「甲子園の土」に触れたり、3塁側ベンチに座るなど、貴重な体験をしました。

併設された「甲子園歴史館」では、高校野球の春・夏の甲子園大会の歴史をはじめ、阪神タイガースの歴史に関するコレクションや、名場面などの展示を見学しました。中でも、好きな球

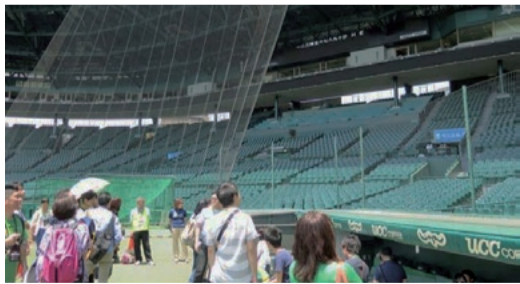


団、名前などを入力すると本物のドラフト会議と同じ画面が表示される「ドラフト体験コーナー」では、自分や家族の名前を入力し、大いに盛り上がりました。

参加者の皆さんは、時間を忘れて楽しみ、最後にスタンドで弁当を食べて解散となりました。

参加者からは、「貴重な体験ができて楽しかった」「家族全員が喜んでた」など、非常に好評でした。

関西総分会は、今後も組合員やその家族同士が交流を深められる場を企画・開催します。(原康之通信員)



## 赤坂点描

異動の時期になると、引き継ぐことの重要性を感じる▼今回、「沖繩ピースすてーじ」に参加した。これまでに観光で訪れていたが、「平和の尊さ・大切さ」を強く意識したことはなく、一連の行動を通じ、問題が山積していることを痛感している▼沖繩では日常生活で常に戦争・基地問題に触れているが、自分たちの周りでは人ごとになっていくのではないかと▼きれいな青い海や、温かい笑顔の人々のために私たちができることは、「過去の悲惨さを知り、「現在」から「未来」へ語り継いでいくこと。今回、五感で感じたことを伝えていきたい。(RAMO)

## My Photo Album

Vol.270



交通安全を願って

入社5年目にして初めてマイカーを購入しました。

大学卒業以来、まったく運転をしておらず、少し不安だったので、大宰府天満宮へ行き、車のおはらいをしてもらいました。福岡で交通安全祈願と言えば宗像大社が有名ですが、自宅からの距離もあり運転をする勇氣はありませんでした…。

これからは、マイカーを使って家族といろいろな所にドライブに行き、充実した週末を過ごそうと思っています。

九州総分会 外林大樹さん